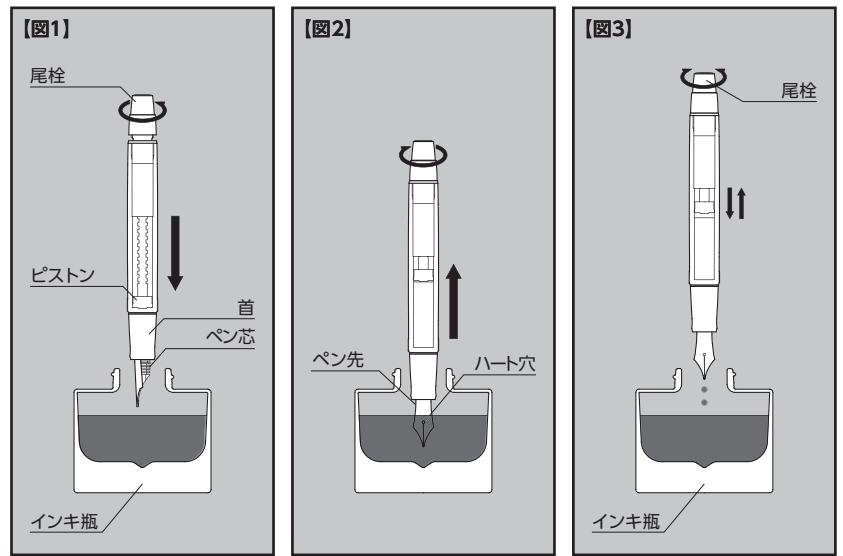


スクリュース式万年筆・使用説明書

インキの入れ方

【インキの吸入について】

- ① 尾栓を止まるまで左へ回し、ピストンを下まで下げてください。(インキが軸内に残っていた場合、ペン先からインキが噴き出す事があります。インキ瓶の中へペン先を入れて尾栓を回すことをお勧めします。)【図1】
 - ② ペン先のハート穴が隠れる位置までインキの中に浸けて、尾栓を止まるまでゆっくり右に回してインキを吸い上げてください。(ペン芯が乾いている時は2~3回繰り返してください。)【図2】
 - ③ 尾栓を再び左に回し、インキをインキ瓶の中へ2~3滴戻し、再度、尾栓を右に回して閉めてください。【図3】
- ※ペン先を上に向けて、ペン先や首部に付いたインキを柔らかい布または紙で拭き取ってください。
- ※ペン先保護のため、先端をインキ瓶の底にあてないようご注意ください。



お手入れと保管

- 高温、低温、直射日光を避け、お子様の手の届かないところに保管してください。
- 長期間ご使用にならない場合はインキを排出し、清潔な水で何度か吸入・排出して内部を洗浄し、必ず尾栓とキャップを閉めて保管してください。
- 本製品は精密な特殊部品を使用しておりますので、お客様ご自身での修理はなさらないでください。

注意

- 筆記以外に使用しないでください。
- 幼児の手の届くところに置かないでください。
- インキの色を変えたいときは、清潔な水で吸入・排出を何度か繰り返して内部を洗浄してください。
- インキ色の違いや洗浄時の条件により、尾栓を回す重さが変わることがありますが故障ではありません。
- 機構部や軸内面には潤滑剤が塗られています。ピストンの位置にインキの付いた潤滑剤が溜まったり、濡れたように見えたりすることがありますが故障ではありません。
- インキによる汚損を防ぐため筆記時以外は必ずキャップを閉め、又、インキの吸入・排出又は洗浄の操作を行うとき以外、必ず尾栓は閉めた状態にしてください。
- 気圧の変化によりインキのぼた落ちや噴き出しが起こる可能性がありますので、航空機内ではご使用にならないでください。
- 尾栓を左に緩め過ぎないでください。緩め過ぎると故障の原因となります。
- 本製品を落としたり、衝撃を与えたりしますと故障の原因となります。
- アルコールなどの溶剤を含む薬品などが付着しますと、ひび割れや変色することがありますのでご注意ください。
- パイロット万年筆用顔料インキ「強色(つわいろ)」はご使用いただけません。
- インキはパイロットの万年筆用インキをご使用ください。他のインキを混ぜて使ったり、古いインキを使ったりすると故障の原因になりますのでご注意ください。